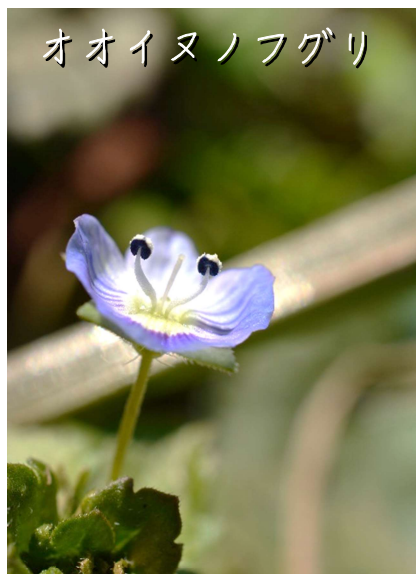


オオイヌノフグリ



ホトケノザ



1月30日さつえい

早春の花

寒い冬から少しずつ春に近づく頃、ふと足元を見ると咲いている野草…のはずですが、今冬は去年の12月頃からちらほらと目にしています。今頃「やっと春がきたのだな♪」と感じる出会いのはずが「?!」と、いつもよりじっくり見る機会が増えました。「今季は早いなあ」と感じている方も多いと思います。

葉や花のたくさんの柔らかな毛が光って美しい。葉の毛は、霜や雪から守り、凍ることを防いでいるんですって。

先日は、忙しくオオイヌノフグリの花粉を集めるミツバチを発見。立派な花粉だangoをつけていました。

オオイヌノフグリ

帰化植物。イヌノフグリという在来種の植物に花が似ていて、それよりも大きいのでこの名がついた。

オオイヌノフグリは、ハチやハナアブによって他家受粉(花粉が他の花の雌しべについて受粉すること)を行うだけではなく、自家受粉(花粉が同じ花の雌しべについて受粉すること)も可能。

イヌノフグリは、オオイヌノフグリなどの帰化植物の影響やアスファルト化によって生活の場を奪われ、数が減少している(環境省で絶滅危惧Ⅱ類(西多摩)に指定されている)。

ホトケノザ

在来種。アジア、ヨーロッパ、アフリカに広く分布する。春の七草でホトケノザと呼ばれている植物は、別種のコオニタビラコのこと。

他家受粉を行うだけではなく、閉鎖花(つぼみの状態で自家受粉する)をつける。



↑ ヨーロッパのホトケノザ



産みたてホヤホヤ～

トウキョウサンショウウオの産卵を確認(1月30日)

秋川を濁らせる程の大雨が降った数日後。

春のように暖かい日が続いたので、もしかして…と思い、パブレンジャーが整備しているトウキョウサンショウウオの水場に行ってみました。すると、思ったとおり、今年初の産卵を確認しました。この場所では、これまでの調査で一番早い産卵となりました。



森っこサンちゃん ©Akizono City

コレンジャー 1月の活動報告

1月の活動は「地図を持って山を歩く」。

地図について少し学んでから出発です！前日に、今年初めての雪が降ったのでみんなワクワク♪里を歩いていると「うわぁ綺麗！」「山の斜面によって雪がとけてる～」「雪がキラキラ降ってくる～」「雪玉作る～」と、みんなニコニコで大盛り上がり！…が、林内を歩きはじめると、とけた雪がポタポタ落ちてきて、みんなどんどん無言に。笑顔が少なくなっていました(;▽;)が、これも経験でしょう！

☆
気を取り直して見晴らしのいい広場でお昼にしました。昼食後は、誰からともなく始まった雪遊びを楽しみ、後ろ髪をひかれつつも下山。下山途中には、フィールドサインや昔道に残る祠を発見しました。地図を持って山を歩くと視点が変わり、今まで見えなかった森の姿を少し感じられたのではないのでしょうか？

次回は3月。あっという間に、今期最後の活動となります。



歩きながら
地図を学ぶ

雪の喜び
雪のアタック



野生動物の
存在

